



「砂留文化を次世代へ繋ごう」



2020(令和2)年5月24日 堂々川ホタル同好会情報紙 2020年度第1号 (創刊より185号)

1. 2006年5月「ホタル恋」第1号が発刊されました。あれから15年、堂々川は大きく変わりました。こつこつと我々会員がやって来た素晴らしい活動は「全国の多くの人に知られるボランティアの会」になり、これを今後も継続したいと思います。
2. 通常なら「春爛漫」の好季節の今、「新型コロナウイルスの蔓延」で、自粛、要自粛の生活です。しかし、5月GWの堂々公園の盛況は何でしょうか？他県ナンバーの車の多かった事。BBQをするグループもあり、パトカーが2台も来ていました。
3. そんな、こんなのご時世でもホタルは5月3日大幅に遅れて上陸してくれ、今年も飛ぶよと約束をしてくれました。お隣の竹田狭間川では5月12日より光っています。
4. 堂々川のホタルに勝手に光れ、とも言えず、有志で草刈りや安全を確認しています。
5. 監視カメラの効果もあり、「ごみ拾いの作業」は減っています。
6. 例年なら遠足で近郊の学校や保育園児が彼岸花を植えに来てくれるはずが今年はNG
7. 写真で見る活動風景



GWの堂々公園駐車場



ここまでやるかBBQの人



猪ハコ罠設置、近接注意



余りにもひどいのでごみ対策



タイヤ・弁当空箱・コンビニ袋



周り見でソロリと始めた草刈り



橋は水没のまま、応急対応の修理中、ドジョウが出てきてこんにちは！



ホタルの幟 (神辺町観光協会殿)

8. 次回定例会 予定日 時間場所

6月21日(日) 8時 堂々川1番砂留 彼岸花球根穴掘り・植栽 約5000球
希望；穴掘りの鍬があれば！持参 砂等は準備します

9. 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 土肥 徳之

堂々川彼岸花基金特集

今年には新型コロナウイルス蔓延の影響で学校が休校になり、遠足は中止になりました。予定していた小学生と共同の計画「中国地方 NO.1 の彼岸花の里づくり」は一時中断しています。しかし彼岸花の球根約 5000 球はすでに確保されて、何時でも植えられる体制です。小学校とは別の行動となりますので、植栽は会員や応援者と実施します。



堂々川彼岸花基金は坂本敏男さんが代表に決まり篤志家の方からすでに 16 万円を超えるご支援をいただき、募集受付の幟もできました。次は啓蒙看板をつくります。

同好会の役員は「こどもえんみどり」の園児が植えてくれる予定の 1 番砂留北側の草刈りをしました

同好会の助成金は、高原環境財団殿と決まりましたが小学生と協働の植栽が不可能となりまたので、御野、中条両小学校の堂々川来訪は変わり、「学校や地域を花いっぱいにする運動」を実施する方向で新しい計画案を推進中です。



彼岸花球根を盗掘したり、花を持ち帰ったり、踏みつける自称カメラマンがいる中、貴重な御支援をいただき感謝しております。

みのだよりでお約束していますので掲載します（順不動、敬称略）

高橋 孝一	武田 武美	諏澤 竹人	渡邊 文夫	奥村 共栄
宮永 美恵	藤井 保夫	中山 晋一	諏澤 敏弘	三浦 典子
坂本 和子	内田 明博	他に匿名希望の方が 2名 いらっしゃいます		

◎お願い事項

ホタル・彼岸花等の観賞について下記の項にはご注意ください。

- ① 素足など肌を露出させて草むらへ入らないこと。マダニがいることがあります
- ② 特に山側は蛇や猪も出没しますので行かないでください
- ③ 車は駐車場に止めてください。駐車案内はしていません。
- ④ お互いが自覚をもって鑑賞してください。
- ⑤ 盗掘やホタル捕獲をしてはいけません
- ⑥ 事故や怪我などは、会では責任をもちません

◎ 堂々川のホームページがスマホから見られます。QRコード⇒

